

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 9 月 8 日

【評価実施概要】

事業所番号	3870105263		
法人名	有限会社 MMC ドリームサービス		
事業所名	グループホーム フレンド		
所在地	松山市湯渡町3-18 MMCフレンド2階 (電話) 089-945-0002		
管理者	中本 映司		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 20 年 7 月 25 日	評価確定日	平成 20 年 9 月 10 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 月 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 10 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤	6 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 6.1 人

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	48,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷金	有()円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	180 円	昼食 550 円
	夕食	550 円	おやつ 120 円
	または1日当たり	1,400 円	

(3) 利用者の概要 (平成 20 年 月 日事業所記入)

利用者人数	9 名	男性	名	女性	9 名
要介護 1	1 名	要介護 2	3 名		
要介護 3	名	要介護 4	2 名		
要介護 5	3 名	要支援 2	名		
年齢	平均 80 歳	最低 69 歳	最高	93 歳	

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

ホームは市内中心部から程よい距離の、小規模な複合施設内の2階にあり、1階はデイサービスセンターで、3階から5階が13戸の高齢者優良賃貸住宅となっている。同法人がすべて運営しているので、ホームの利用者には、その多機能性が生活に潤いを与えている。近隣は古くからの住宅地で、自治会が有用に機能している。ホームは開設後から地域を意識した運営を行っており、本年度は6月から新規に施設長を雇用し、地域との連携に一層力を入れている。一般的に福祉施設は地域から奉仕を受ける立場になることが多いが、ホームは地域に貢献する、地域の社会資源となる、ということにも力を入れている。この関係は利用者が地域の住民になる基盤であり、地域密着の基本でもある。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

前回評価では、「地域密着」を理念に盛り込むことが期待されていたが、運営者は、施設長や管理者、職員と丁寧話し合い、地域を意識した理念を確立している。地域については、語意だけでなく意義や概念等も話し合われていることが、職員の会話に利用者や地域が意識されていることから理解できる。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

自己評価は職員間で話し合い、管理者がまとめている。調査時には運営者や施設長も出席していたが、職員を含め全員が同じ方向を見据えている話が聞けたことから、評価を有用に活用していることがうかがえる。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

運営推進会議では、地域からの広報誌配布や公園清掃の連絡などがあり、地域に溶け込む場として有効な会議として活用されている。また、ホームの地域貢献の場として、健康に関すること、認知症ケアに関することなどちょっとした情報提供も行っており、双方向な運営となっている。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

1ユニットの小規模なホームであり、管理者や職員と、家族との関わりが密であるという特徴がある。また、運営者や施設長もホームに頻りに顔をだし、家族に積極的に声をかけている。家族との関係は利用者の生活の質に大きな影響を与えるとの認識のもと、家族に対して、まず報告・連絡・相談が徹底されており、安心感がある。

▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

「いきいきサロン」や自治会とのつきあいなど、ホームの利用者には地域住民としての生活がある。近隣公園の掃除当番や清掃活動など、地域住民としての義務も果たしており、地域に根差した活動を行っている。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム フレンド

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

中本 映司

評価完了日

平成 19 年 月 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 月二回のカンファレンスで、運営方針について話し合い、具体化し、方針に添った援助を心がけている。 (外部評価) ホーム開設後から地域との交流を意識した運営を行っていたが、昨年度より地域密着型へ移行したことにより、理念の基本に地域を置き、利用者が地域住民として生活できるような運営についての話し合いを職員間でもっている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念のキーワードとなる言葉を、皆の見える位置に掲げ、日々実現に向けて取り組んでいる。 (外部評価) 管理者や職員間での、理念に基づく話し合いは密に持たれており、理念の共有化が図られている。また、運営者や施設長も日常的にホームに関わり、理念の実践に余念がない。	※	今後も理念に向けてどういった取り組みが大切か、職員間で共有していく。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 家族へは、月に一度手紙を送付し、利用者の様子・理念など説明しており、地域の方には運営推進会議を通して説明を行っている。また、フレンドだよりを発行して家族・地域の方によりグループホーム内での生活の様子・取り組みを知って頂くよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 職員の出勤時・帰宅時での挨拶は行うようにしている。また利用者を伴った散歩など、挨拶を通して会話を行えるようになっている。	※	地域の「いきいきサロン」での活動に参加を続ける事によって、地域の方が気軽に立ち寄れる関係を作っていきたい。また地域の方にボランティアとして来荘していただきより交流を深めていく。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の「いきいきサロン」の行事に参加している。毎月一日・十五日発刊の広報誌をもとに、町内会の行事に参加している。 (外部評価) 「いきいきサロン」や自治会とのつきあいなど、利用者には地域住民としての生活があるが、母体法人が運営している高齢者優良賃貸住宅の住民とは、職員や行事を通してのふれあいが多く、利用者同士の普段着のつきあいとまでは言えない。	※	高齢者優良賃貸住宅は13戸で、ホームの上階にある。日常的につきあいが可能な「ご近所さん」があるというホームの特徴を活かし、利用者の交流に多様性を確保することを期待する。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議において話し合いは行っている。	※	今後、地域の行事の中で、職員も運営・準備の手伝いを行っていく予定。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 月二回のカンファレンスを通して、職員の意義の理解を深め実際に改善に取り組んでいる。 (外部評価) 自己評価は職員間で話し合い、管理者がまとめている。運営者や施設長を交えての話し合いも持たれており、自己評価を自分たちのケアを客観的に見据える機会として積極的に取り組んでいる。	※	評価に対して今後どのように取り組んだら良いのかを職員一同で話し合い共有していきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議で、利用者の状況、どのような取り組みを行っているか、など説明している。地域の方から行事の日程を教えて頂き、地域行事への参加を行っている。 (外部評価) 運営推進会議を通して、地域との連携が密になっている。地域からの広報誌配布や公園清掃の連絡などがあり、地域に溶け込む場として有効に活用されている。また、ホームによる地域貢献として、健康に関すること、認知症ケアに関することなどちょっとした情報提供も行われており、双方向の運営がなされている。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 民生委員と蜜に連絡を行って地域行事などに参加している。 (外部評価) 運営推進会議を通して、市担当者や民生委員、地域包括支援センター職員などと、利用者のサービスの向上のために協働する仕組みがある。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 実際に活用している人はいないが、協力体制は整っている。制度の理解は、勉強会を適時行い職員間での理解を深めている。	※	今後、研修にも積極的に参加していき職員のスキルアップに取り組む。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) カンファレンス・引継ぎを通して職員間、相互の確認を行っている。	※	今後、高齢者虐待防止関連法について研修への参加・勉強会を通して職員間でより認識をもつように取り組む。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約書の中に、利用者の権利・義務について明記しており、口頭でも分かりやすく説明を行っている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 普段の生活の中で、担当者・管理者が利用者の希望・不満・苦情など聞き入れるよう懇談の時間を持つよう心がけている。	※	今後も利用者の表情・言葉などを大切にしていき日々、変わる利用者の心の理解を職員間で深めていく。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 月に一度、請求書と共にそれぞれ担当者が利用者の様子等を手紙で報告し、金銭管理については、小遣いとして月に約1万円預かり、確認印をおしてもらいレシートと小遣い帳のコピーを同封している。また家族が面会に来られた際は近況報告を口頭にて行っている。 <hr/> (外部評価) ホームには、「家族等の協力無くして利用者のQOLの向上はない」との考えがあり、その第一歩として家族等への報告には余念がない。利用者の担当職員を決めてはいるが、全職員で全利用者を支援するとの考えがあるため、家族等に対しても職員全員で関わりを持っている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 玄関に意見箱を設置し、気軽に意見を表せるようにしている。それをもとにカンファレンスで話し合いを行う。 <hr/> (外部評価) 家族等の苦情を受け付ける窓口や意見箱などを設置しているが、管理者や職員だけでなく、運営者や施設長も積極的に声をかけ、意見や苦情が言いやすい状態になるように努めている。運営者等の傾聴する姿勢から、家族等の意見はホームの運営に反映させていることがうかがえる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月二度のカンファレンスでそれぞれ職員の意見や提案を聞く機会を設けている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) カンファレンスにおいて、なるべく柔軟な対応ができるように適時話し合いを行っている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 利用者本位を第一に最小限に抑えるようにしている。変わる場合は、家族とも相談し対応するようにしている。 (外部評価) 開設後しばらくは職員の退職などがあったが、昨年度ぐらいから落ち着いてきている。運営者は、利用者や職員との馴染みの関係が重要であるとの認識が深く、同法人の他部門との異動は極力少なくすることを心がけている。	※	今後も、利用者・家族との日々の生活やコミュニケーションを大切に信頼を深める。
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 職員研修プログラムを作成しており、重ねて法人内で二ヶ月に一度の研修、法人外への研修への参加も行うようにしている。 (外部評価) 運営者や管理者は、ホームが利用者に提供できるサービスの質は職員の質で左右されると考えており、職員には法人内外の研修に積極的に参加することを促している。また、職員の業務評価を短いスパンで行い、職員のモチベーションが継続するような取り組みも行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 地域包括支援センター主催の勉強会に参加し同じ地域のGHとの交流を、二ヶ月に一度行っている。	※	今後も、同業者との交流を大切にしていき、質の向上に努める。
			(外部評価) 同法人が運営しているデイサービスや居宅サービスの職員と交流する機会は多く持っているが、他事業所等との交流が十分に持たれているとは言えない。	※	地域包括支援センターの管轄地域のグループホーム連絡会が始まっており、これを機に他のホームでの職員研修や、運営推進会議への出席などを積極的に企画することを期待したい。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 今のところ休憩場所・時間の確保が出来ていない。	※	今後、場所・時間の確保に努めたい。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 毎月、各職員が自己目標を立てそれに向けて業務に取り組んでいる。それをさらに管理者が評価し、運営者の理解・把握に努めている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族・本人自身の希望を尊重した、アセスメント・懇談の機会をもつようにしている。	※	今後も、家族・利用者が話しやすい環境をつくり、信頼関係を深めたい。
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 初期段階で管理者を中心に家族の希望等を聴く機会を作り、その後も定期的に継続して行っている。また面会時のコミュニケーションを大切に家族の希望を職員間で共有し実施出来るよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 在宅介護も視野に入れ、様々なサービス対応を含めた対応に努めている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) カンファレンスによる職員全員での討議、体験入所等を取り入れ慎重に初期段階での対応を行うよう心がけている。 (外部評価) 運営者や管理者は、利用者がホームに馴染むためのポイントを、家族とホームの協働と初回の職員の対応に置いている。見学や同法人のデイサービスの活用などで慣れしてもらうことも必要であるが、馴染むためには人の関わりが重要と考え、職員の笑顔や対応、声かけに心を砕いている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 理念をもとに普段から職員も含めて、一つの家族として日々の生活を共に送ることを基本として、業務に努めている。 (外部評価) 職員の話に、「一つの家族」とか「居場所」という言葉がよく出てきており、利用者と業務を超えた関わりをしていることが理解できる。「出勤したときに利用者から、待ちよったよと声をかけられると、思わず笑顔になります」との話から、支えあう関係が構築できていることがうかがえる。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族が来訪し意見交換し易い環境作りに努めている。運営推進会議にも参加していただき、ホーム作りに参加して頂けるよう、呼びかけている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 月一度の手紙のやり取りで、本人から手紙を書いたり、写真を同封したりしてより良い関係の構築を行っている。	※	今後は、家族に行事への参加も積極的に呼びかけ、本人と家族との関係をより理解したい。
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 馴染みの人には、手紙を出したり、慣れ親しんだ場所には外出の場所として目的地に選んだりしている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士でお世話をやいたり、互いに協力し合って、一緒に作業をしたりしている。	※	作業をする時等、利用者同士で声を掛け合いより良い信頼関係を深めるよう努めている。
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 契約終了後も電話・手紙・お見舞いを行うように取り組んでいる。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日常の中の会話・表情・様子から、希望等意向の把握に努めている。 (外部評価) 利用者の思いを把握するためには生活歴を知ることが重要であるとの考えから、初回のアセスメントは慎重に行われており、家族等への聞き取りも十分に行われている。入居後に把握した情報についてはミーティングで話し合い、共有化されているが、記録としての保存が行われていない。	※	1ユニットの少人数であることから、口頭伝達で大きな問題は起こっていないようであるが、新規職員などのために記録化することを望みたい。また、記録を読み返すことで、利用者の新たな側面を発見することも期待できる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 家族・本人との会話を通して細かい部分まで把握するよう職員一同、努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) ケース記録・生活日誌・夜勤日誌・バイタルチェック表をもとに日々の変化・状況の把握が、職員間でできるように引継ぎを行っている。	※	今後、ケース記録等で個人個人の感情の記載をすることによって、心身のケアに努めていく。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 本人・家族の意向のもとに、カンファレンスを通してセンター方式を利用して介護計画を作成している。 (外部評価) 利用者毎の担当職員が介護計画の素案を計画作成担当者と共に作り、全員参加のミーティングでまとめている。介護計画には施設長や運営者の視点からの意見も反映され、また、同法人デイサービスの、理学療法士を中心とした職員にも相談しており、多方面の視点を取り入れられている。	※	今後も、利用者が自分らしく生活していけるよう本人・家族・関係者との意見交換を大切にし、介護計画を作成していく。
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 基本は二ヶ月に一回のモニタリングを行い、適時状況に応じた計画作成を行っている。本人・家族と話し合いの時間をとるようにしている。 (外部評価) 利用者の状態は、担当職員だけでなく、管理者や運営者、施設長など多くの視点からの見守りがなされており、必要に応じて介護計画の見直しを行っている。ただ、介護日誌の記載内容を介護計画とリンクするような記載内容にすると、新たな視点が持てると思われるので、検討を願いたい。	※	今後も、その時々に応じた介護計画を本人・家族・職員間で話し合い本人に合った介護計画を作成していきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) ケース記録・生活日誌・夜勤日誌・連絡帳をもとに日々の変化・状況の把握が、職員間でできるように引継ぎを行っている。見直しがある場合は適時カンファレンスを行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 本人や家族の状況・要望に応じて柔軟な対応が出来るように努めている。 (外部評価) 規模は小さいが、デイサービスや高齢者優良賃貸住宅が併設されている。また、同法人の居宅介護支援事業所などが身近にあるため、ホームにはハード面だけでなくソフト面や人材など十分な多機能性があり、それが利用者や家族の要望にうまく活用されている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域資源との協働ができる体制になっている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 状況に応じて対応を行っている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 権利擁護を利用する該当者はいない。 地域包括支援センターとは適時相談したり協働の場をもっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人・家族の希望を優先させている。ホームの主治医に変更される方もいれば、今までのかかりつけの病院に通院される方もいる。		
			(外部評価) かかりつけ医は本人や家族等の要望が優先されており、各医療機関との連絡・連携は看護師が担当している。利用者の状態に応じて専門医も紹介するなど、適切な医療的ケアの提供に努めている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 週に一度、往診に来てくださる医師に、指示・助言をもらっている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 一階のデイの看護職員とはすぐに対応できる連携体制が確保できており、ホーム内にも看護職員が一名いる。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) ホームの主治医と入院医療機関とで情報交換していただいて、適切なケアが提供され、退院してからも安心して過ごせるようにしている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 身体的には安定している方が多いため現段階では全員の家族との話し合いはもてていない。かかりつけの医師とは普段から助言・指導をもらっている。	※	今後は、それぞれの家族と話し合っていきたい。
			(外部評価) 運営者や管理者は、利用者に「落ち着いた生活」を提供することをホームの基本としているため、終末期にも継続した生活を提供したいと考えている。ホームのかかりつけ医との話し合いも進めており、ターミナルケアの準備を進めている。しかし、現在の利用者には対象者が居ないため、家族と具体的な話を進めるまでには至っていない。	※	終末期ケアに関しては、家族等はなかなか実感が湧かないのが実情であるので、ホーム側から事ある毎に少しずつ話し合いを持つよう心がけ、家族等にも時間的・心理的・経済的負担が多くあるということを具体的に話し、理解を得ることが求められる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) かかりつけ医の助言・指導をもとにカンファレンスで検討している。	※	今後は、重度化・終末期の支援を職員間でも勉強していきたい。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 住み替え時のダメージ抑止のために、話し合い情報交換を行っている。居室の馴染みの家具などの配置に気をつけるなど工夫もしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 言葉掛けや対応はだいたい出来ている。 記録等の扱いに関しては、鍵つきの書棚での保管等十分留意して行っている。 (外部評価) 利用者への声かけは、耳元で話しかけることや、スキンシップを取りながら、しっかりと目を合わせる等、落ち着いた会話ができるような工夫が見受けられる。職員は、利用者の気持ちを言葉だけでなく動作や表情からも読み取ろうとしており、尊厳を守るという意識が強く感じられる。	※	尊厳ある生活を保障する事は、カンファレンス等で確認し合い徹底している。
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 十分に時間をかけて、日々の会話等を大切にして、働きかけるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) ケアプランに添って支援しているが、業務を優先し利用者に対し「ちょっとまって！」などスピーチロックになりがちな面がある。 (外部評価) 利用者のペースを優先する支援に努めているが、規則正しい生活することで健康を守るという面から、生活全般が本人の希望通りにならないこともある。しかし、辛抱強く話を行い、待つという姿勢で利用者自身の気づきを促している。	※	今後は、利用者の気持ち・ペースを大切に考え対応していきたい。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) それぞれの意向に合わせて、カットサービスを利用したり、馴染みの理容店・美容室に出かけたりしている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 少しの作業でも、みんなが参加できる形で、お互いに助け合いながら行っている。 (外部評価) 職員が配膳の手間だけで済むことで利用者とゆっくりとした時間を過ごせるため、昼食と夕食は配食サービスを利用している。「今日は何でしょうね」と利用者と職員が楽しそうに話をしている状況は微笑ましく、ゆっくりとした時間が確保できるような工夫があることがうかがえる。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人の希望を聴き、意向に添った対応をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄パターンを把握するため、カレンダーを作り、時間帯などそれぞれの利用者に合わせて対応している。	※	利用者個々の排泄パターンを職員間で話し合い、おむつの使用を減らしていけるよう努めたい。
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 基本的には、時間帯は決めていない。利用者の希望に合わせて確認しながら対応している。 (外部評価) 運営者の「利用者を楽しみを」という配慮から、温泉の湯を浴槽に引き湯しており、利用者も温泉の気持ち良さを自慢している。入浴支援も本人の希望に応じており、利用者の状態によって入浴を促す工夫等も行っている。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 夜間、不眠の方については、日中体を動かす機会を作って、適度な疲労感をもって頂いたり、日中、居眠りされないように働きかけている。また夜間、不安で眠れない方にはゆっくり話が出来るよう努めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) それぞれの役割をもって、助け合いの中で日常生活が行えるように働きかけている。 散歩・外出の機会を設けている。 (外部評価) 管理者や職員は、「その人を見る」という支援に努めている。ちょっとした表情や仕草から気持ちを感じ取り、精神的に充実した時間を提供しようとしている。役割や気晴らし等の支援は、利用者が充実して時間を過ごすための手段として用いるものであると、目的意識がしっかりしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 利用者一人ひとりに応じて、金銭管理を自分でもらったり、お小遣いといった形で少しだけもって頂いたりと様々である。 一緒に買い物に行ったり外食など行っている。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 天気が良ければ、ほぼ毎日散歩に出かけている。 利用者の行きたい所など希望を聴きそれに添った対応を心がけている。 (外部評価) 管理者や職員は外出の意義をよく理解しており、利用者の体調や天候を考慮しながら、極力外気を浴びることを心がけている。近所の公園に出かけたり、近所を散歩する等、ちょっとした外出を日常生活に組み込み、積極的な支援を行っている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 個別での外食・外出など、家族の協力もあり希望に添って行っている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 手紙を書きたい方には書いていただき、近くの郵便局に出しに行ったりしている。電話はかけたいと訴えがあった時、職員支援のもとにかけている。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 来られた時は、きちんと挨拶し、笑顔でお迎えするようにしている。家族や友人の方が気軽に訪問できるような環境作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束は行っていない。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中、玄関に鍵をかけたことはない。玄関を通ればチャイムが鳴るようセンサーを設置しており、外に出れば分かるようになっている。 (外部評価) 玄関入口は、夜間の防犯以外には鍵をかけていない。職員の見守りとセンサーを活用しており、利用者の安全に配慮している。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 日中は日勤者がリーダーとなり、把握・安全に配慮している。夜間は、夜勤者が一時間毎の巡回で対応している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) カンファレンスでの話し合いをもとに、状態に合わせて最小限で危険を防ぐようにしている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故防止・災害時マニュアルの周知徹底で対応している。	※	今後も、事故防止のために職員間で責任の認識を高めていきたい。


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 急変時・事故発生時のマニュアルをもとに、定期的にカンファレンスにおいて確認している。 緊急連絡網の周知徹底をしている。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 町内会とも連携をとり、避難訓練も定期的に行っている。 (外部評価) 消防署と連携しての避難訓練や、近隣住民との話し合いなどを行い、災害対策にはホームだけでなく地域を交えて取り組んでいる。	※	今後、運営推進会議でも議題に取り上げ話をしていきたい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) 入所時にリスク対応について十分に話し合っている。また、適時連絡して対応している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 発見時、緊急連絡網で、速やかに情報を共有し対応している また、小さな変化でも、引継ぎを通じて共有している。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方箋は個人ファイルに閉じ、全職員が目を通せるようにしている。変更があった場合は連絡帳への記載・申し送りを通じて確認できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 日中の適度な運動や食事の管理で対応している。 便秘が続いている場合は、NSが浣腸している。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後の口腔ケアは、支援・声掛けを行っている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量・水分量は、適切に確保できるように支援している。 (外部評価) 食事は外部業者に依頼しており、メニュー表や栄養バランス、摂取カロリーなどの打ち合わせも行っている。食事の量は職員が記録し、食欲がなく摂取カロリーが少ないと感じた場合も、週のトータルで摂取できるように見守っている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染症マニュアルがあり、周知徹底している。 インフルエンザ予防接種は、毎年行っている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) その日に使用したまな板・包丁などは消毒し、食材は係りを決めて管理に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) ウェルカムボードや花を飾り、季節感を出し、家庭的な雰囲気作りをしている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 玄関・廊下には利用者の方の作品・写真を飾っている。 家具は温もりのある木の家具を使用している。 (外部評価) 共用空間を、家具の配置でダイニングとリビングに区切り、生活のシーンでうまく使い分けている。壁には利用者の写真や作品が飾られているが、適所に配されているのでインテリアとして部屋に馴染んでいる。イスやテーブルは座りやすいデザインのもが置かれており、センスの良さが感じられる。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ダイニングとリビングが別になっているので、ダイニングで作業をされたり、リビングのソファでくつろいだり、ベランダに出たりと、思い思いに過ごされている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 居室はエアコン・カーテンは備えているが、あとは基本的に持ち込みをしているので、これまで使用されていた馴染みのものをもってきている。 (外部評価) 利用者により配置されている家具は異なるが、それぞれ使い慣れたものを持ち込んでいる。また、写真や絵なども飾られており、居心地よく過ごせる部屋となっている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 日中は、天候や気温に気を付けながら、なるべく窓を開けるようにしている。エアコンも各居室に設置しており、好みの温度に調整している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) バリアフリーで、手すりの設置、浴槽には滑り止めマットを敷いている。トイレは三箇所あり、お待ちしていただくでもいいようにしている。キッチン是对面式になっており、安全に作業が出来るようになっている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) トイレには大きな表示、各居室にはメモリアルボードを設置し分かりやすいようにしている。		
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) ベランダにプランターを置き、花を植えたり一緒に布団や洗濯物を干したりしている。また椅子を置き天気の良い日は日向ぼっこなどしている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価)	① ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	普段の日常生活の中で、把握できている。利用者との会話の時間を大事にしている。センター方式を用いてケアプランを作成し、支援している。月二回のミーティングを通して利用者個別のサービス担当者会議を行っている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価)	① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	一緒にレクリエーションをしたり、リビング・居室にてゆっくり会話をしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価)	① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日常生活の中で、無理強いすることなく、利用者のペースに合わせて行っている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価)	① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日々の生活の中で、ともに声を出して笑うことが多々あり、楽しく時間を共有している。
92	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (自己評価)	1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	家族の協力もあり、希望に添って外出の機会を設けるようにしている。希望場所が、遠すぎて行けてない場合もある。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価)	① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	健康面で何かある場合は即時対応している。ホームの主治医が週一回、往診に来られている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価)	1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	すべての要望には応えられない部分がある。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく (自己評価)	1 ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	連携を密にし、懇談する機会を設けるようにしている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価)	1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	適度に面会に来られている。また地域の方にボランティアとして来て頂き墨江やタワシ作りも行っている。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	① 大に増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	地域の行事に参加したり、情報の提供をしてくださる。
98	職員は、生き活きと働いている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	勤務時、笑顔も見られ楽しく関係作りも良好である。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員も利用者も家族のような関係作りが出来ている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	ほとんどの家族が満足しているけど、今後は個別ケアにも取り組みより満足していただけるよう努めたい。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

一つの家族として、泣くこともあり、笑うこともあり、怒ることもあり、共に悲しみ、時間を共有していきたいと思ってます。普通の生活を、当たり前で過ごせる事を目指しています。